

令和4年（2022年）10月27日

報道機関各位

「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。

◆ 概要

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部 北方建築総合研究所では、外装材に木材を用いた「北総研防火木外壁」の第5弾として、枠組壁工法を対象に、付加断熱材にポリスチレンフォーム断熱材（PS）を用いた「枠組PS仕様」を開発し、発泡スチロール協会（申請者：日本フォームスチレン工業組合）、株式会社カネカおよび株式会社JSPにおいて、建築基準法に定められる「防火構造」の国土交通大臣の認定を取得しました。

この「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」は、北方建築総合研究所が林産試験場と共同で取り組んだ道総研重点研究「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」（平成29年度～令和元年度）の研究成果の一部を、発泡スチロール協会、株式会社カネカおよび株式会社JSPに技術移転したものです。

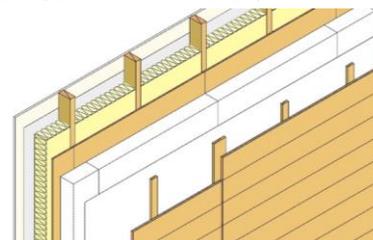
「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」は、建築事業者に自由にお使いいただけます。

1 大臣認定を取得した外壁名

- ・「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」

2 大臣認定を取得した外壁の認定番号と構造名

- ・PC030BE-4058（1），（2）～4060（1），（2）
- ・グラスウール（ロックウール）断熱材充てん／木材・ポリスチレンフォーム断熱材・構造用面材表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁



「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」

3 「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」の社会的意義

- ・枠組壁工法の外壁に「北総研防火木外壁」が使用できるようになりました。
- ・木材仕上げには、高い人気があり、道民のニーズに対応できます。
- ・法令の防火規制に適合しつつ、可燃材料である木材を外装材に使用できます。
- ・北海道で広く普及する高断熱仕様の外壁であり、特殊な施工を要しません。
- ・道産木材の利用を促進し、道内産業の振興、森林資源の循環に貢献します。

4 「北総研防火木外壁（枠組PS仕様）」の普及方法

- ・認定取得者である発泡スチロール協会会員各社、株式会社カネカ（カネカケンテック株式会社）および株式会社JSPを通じて建築事業者へ普及します。

◆報道に当たってのお願い

多くの皆様に大臣認定を取得した技術を知っていただけるよう、北方建築総合研究所（旭川）にて取材を承ります。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）

建築研究本部北方建築総合研究所 企画調整部企画課（担当者：馬場）

TEL：0166-66-4218 E-mail：nrb@hro.or.jp ※平日8：45～17：30

発泡スチロール協会

EPS建材推進部

TEL：03-3861-9046

E-mail：jepsa@jepsa.jp

株式会社JSP

建築土木資材事業部開発部

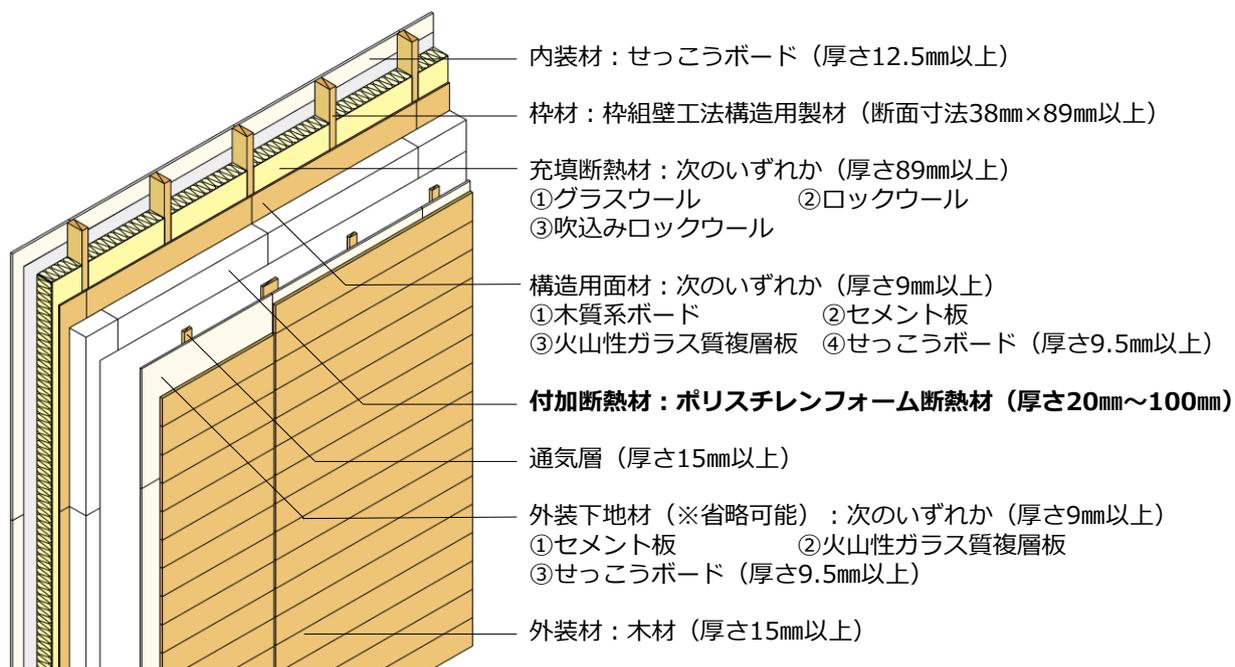
TEL：03-6212-6366

カネカケンテック株式会社

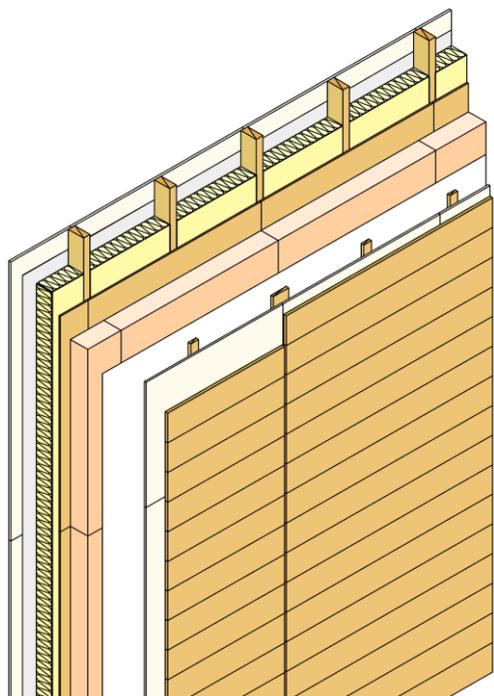
開発技術本部技術部

TEL：03-4564-2550

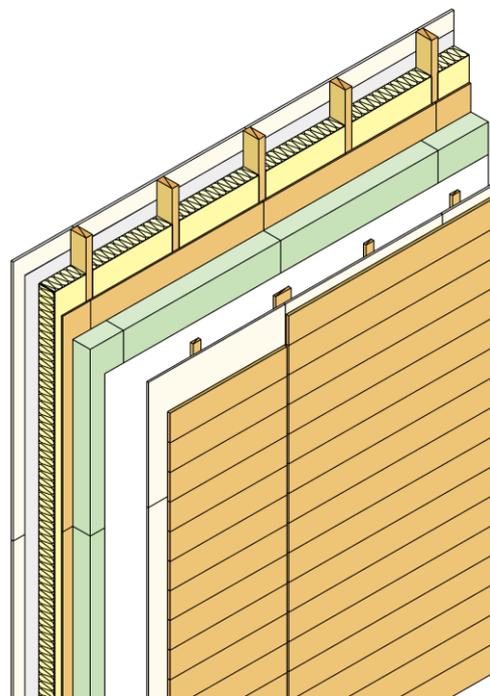
◆「北総研防火木外壁（枠組 PS 仕様）」の外壁構成



北総研防火木外壁（枠組 PS 仕様）
 付加断熱材：ビーズ法ポリスチレンフォーム



北総研防火木外壁（枠組 PS 仕様）
 付加断熱材：押出法ポリスチレンフォーム
 （カネカ社製品）



北総研防火木外壁（枠組 PS 仕様）
 付加断熱材：押出法ポリスチレンフォーム
 （JSP 社製品）